NTTデータ CybersecAcademy®
EC-Council/SecuriST研修等ご紹介

テクノロジービジネス事業本部
テクノロジーコンサルティング事業部

01

CybersecAcademy®/GSX社研修

CybersecAcademy®のご紹介

NTTデータグループではSOC/CSIRTを担うセキュリティ人財を育成するために、『CybersecAcademy®』を立ち上げ、必要な知識・スキル獲得のための研修コンテンツを提供しております。当社の実践的ノウハウを提供するCybersecAcadmey本科と、資格取得を目指すGSX社提供コースの2種類があります。

CybersecAcademy®

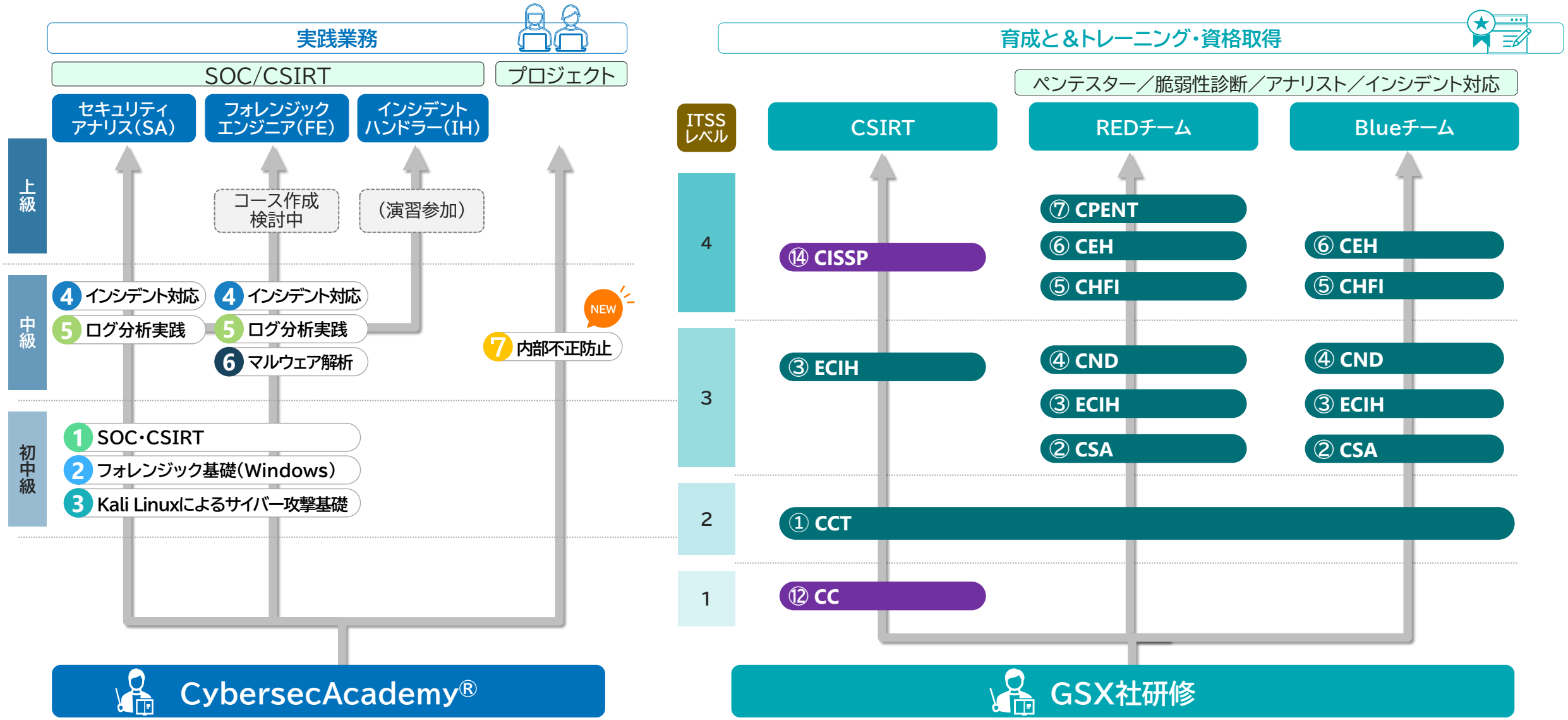
- 世界最大規模（70カ国20万人）のOA環境を統制するNTTDATA-CERTの知見をもとに、SOC／CSIRTで必要なセキュリティ人財を育成する、NTTデータ独自の研修プログラム
- セキュリティアナリスト、フォレンジックエンジニアについて、それぞれ「初中級」「中級」の2コースを用意
- SOC/CSIRT以外にも、システム開発プロジェクトで必要な内部不正防止研修等も用意

GSX社提供 研修プログラム

EC-Council	設立20年以上で全世界150カ国40万人の資格取得者を輩出しています。サイバーセキュリティ技術に係る初級～上級、スペシャリストと向けのトレーニングを提供、資格取得も可能です。
SecuriST	GSX社が提供する、初級～中級向けのセキュリティ資格と、資格取得のためのトレーニングを提供
CISSP	世界的に認められた、セキュリティマネジメントに係る資格（CISSP）と、資格取得のためのトレーニングを提供

CybersecAcademy®とGSX社研修の関係性

CybersecAcademy®
GSX社提供 研修プログラム



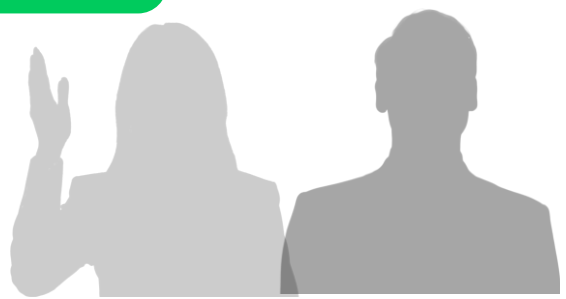
CybersecAcademy®提供研修メニュー

CybersecAcademy®
GSX社提供 研修プログラム

下記の表は、役割・レベル毎に、想定タスクと対応する研修メニューを整理したものです。

レベル		役割			
		SOC / CSIRT			プロジェクト
		セキュリティアナリスト(SA)	フォレンジックエンジニア(FE)	インシデントハンドラー(IH)	開発者・運用者
上級	タスク	ー	フォレンジック解析結果の品質に責任を持つ。 中級のタスクに加えて、中級以下の教育指導も実施。	インシデント対応結果のQCDに責任を持つ。インシデント事象の全体を把握し、対応方針や重大度判定、メンバアサイン、関係者調整等を実施する。	
	研修	ー	【今後策定予定】	IH特有の技量に関しては、実務面以外の能力をNISC演習・持株演習・外部トレーニング(IR)を通じて獲得・維持	
中級	タスク	ログ抽出・分析作業で初・中級メンバをサポートしつつ、フォレンジックの要否や、対応の方向性を判断。 顧客や社内関連組織との連絡窓口となる。	サブリーダーとして、初・中級メンバのサポートをしつつ、解析ツールを使用し、幅広く解析を実施。 解析結果をまとめ、解析報告書を作成する。		システム開発プロジェクトにおいて、セキュリティの観点から、システム運用における内部不正対策を設計・開発段階から取り込むとともに、運用段階において期待された通り実行する。
	研修	4 インシデント対応: 2日 5 ログ分析実践: 2日	4 インシデント対応: 2日 5 ログ分析実践: 2日 6 マルウェア解析(Windows): 3日		7 内部不正防止:1日 NEW
初中級(準中級)	タスク	Tier1から引き継がれたアラートについて、各組織との連絡やログ抽出・ログ分析を手順書に基づいて 実施。	ファストフォレンジックやタイムライン等の情報の抽出、整理。インシデント関連情報の調査も実施する。		
	研修	1 SOC・CSIRT: 4日 2 フォレンジック基礎(Windows): 2日 3 Kali Linuxによるサイバー攻撃基礎: 3日			

NTTデータで提供中の研修メニュー



GSX提供スキルアップ教育講座のご紹介①ITSS登録講座

CybersecAcademy®
GSX社提供 研修プログラム

GSXは、セキュリティ全体像を網羅した教育サービスをご提供します。国際認定資格であるEC-Council、ISC2、およびGSXオリジナルのSecuriSTシリーズ等、ITスキル標準（ITSS）に登録されているベンダーニュートラルな内容の講座をご提供します。

レベル	対象別：技術者育成トレーニング・資格取得		
	EC-Council 総合コース	SecuriST 単科コース	ISC2
スペシャリスト	⑦ CPENT CEHホルダーの上位資格		
上級 （ITSS 4）	⑥ CEH 攻撃側の手口と考え方を習得する ⑤ CHFI デジタルフォレンジックを体系的に学ぶ		⑭ CISSP 事業継続観点からセキュリティを習得する ⑬ CCSP クラウドセキュリティの考え方を習得する
中級 （ITSS 3）	④ CND セキュリティ設計/運用/対応を習得する ③ ECIH インシデント対応方法を習得する ② CSA 監視/運用のSOCアナリストを育成する		
初級 （ITSS2）	① CCT（ITSS1相当） 強固なセキュリティの基礎力を獲得する	⑨ 認定ネットワーク脆弱性設計士 プラットフォームの弱点を見つけられる ⑧ 認定Webアプリケーション設計士 開発したアプリの弱点を見つけられる ⑪ DevSecOps入門 開発段階からセキュリティを組み込めるようになる ⑩ 認定セキュアWebアプリケーション診断士 安全な要件定義と設計の基礎がわかる	
入門(ITSS1)			⑫ CC 事業継続観点からセキュリティの基礎を学ぶ

NTT DATA

GSX提供スキルアップ教育講座のご紹介②

CybersecAcademy®
GSX社提供 研修プログラム

プラスセキュリティ人財の実践力向上、リスクの見える化と適切な判断など、多様な人財に必要なそれぞれのスキルを効率よく育成するトレーニングをご提供します。

レベル	対象別：技術者育成トレーニング	プラスセキュリティ人財向け
	MICRO HARDENING 単科コース	SecuriST 単科コース
初中級	**⑮ Micro Hardening Enterprise Edition** **情報処理安全確保支援士 特定講習！** IT運用の現場でインシデントに遭遇した際、適切に「手が動く」セキュリティエンジニアを育成	**㉑ CISO講座** CISOまたはCISOを支える人財向け **⑲⑳ ゼロトラストコーディネーター（応用編）** 業界の新常識「ゼロトラ」を身に付ける ● 応用編 ＞ ステップ1、2の技術要素 **⑱ AIセキュリティ講座** AIを活用した業務改善やサービス提供を行う際の概念や、AIを活用した攻撃・防御について理解する。
初級		**⑲⑳ ゼロトラストコーディネーター(入門編＋基礎編)** 業界の新常識「ゼロトラ」を身に付ける ● 入門編 ＞ゼロトラストの理解 ● 基礎編 ＞ 現状把握から企画 **⑰ 実録インシデント講座** インシデント事例から攻撃者の手口を理解し、攻撃者視点からラ対策を検討する
入門		**⑯ セキュリティパスポート** 適切な情報の取り扱い方を身に付ける

NTT DATA

【参考】EC-Council講座一覧

世界的に認められた、セキュリティ技術に係る資格（CEH；ホワイトハットハッカー等）と、資格取得のためのトレーニングを行う場合はEC-Councilの研修を受講することをお勧めします。

【EC-Council講座一覧】

項番	講座名	講座内容	レベル	受講形態	日数
①	CCT：認定サイバーセキュリティ技術者	強固なセキュリティの基礎力を獲得する	初級（ITSS2）	オンラインLIVE	3日
②	CSA：認定SOCアナリスト	監視/運用のSOCアナリストを育成する	中級（ITSS3）		3日
③	ECIH：インシデントハンドラー	セキュリティ設計/運用/対応を習得する			3日
④	CND：認定ネットワークディフェンダー	セキュリティ設計/運用/対応を習得する			3日
⑤	CHFI：デジタルフォレンジック	デジタルフォレンジックを体系的に学ぶ	上級（ITSS4）		4日
⑥	CEH：認定ホワイトハッカー	攻撃側の手口と考え方を習得する			5日
⑦	CPENT：認定ペネトレーションテスティングプロフェショナル	CEHホルダーの上位資格取得	最上級（ITSS4）		5日

※1回分の認定資格試験が含まれています。

【参考】SecuriST講座一覧

CybersecAcademy®
GSX社提供 研修プログラム

初級～中級向けのセキュリティ資格と、資格取得のため、また**セキュリティレビュアの人財育成**にはSecuriSTの研修を受講することをお勧めします。

【SecuriST講座一覧】

項番	講座名	講座内容	対象者	レベル	受講形態	日数	備考
⑧	**認定Webアプリケーション脆弱性診断士**	開発したアプリの弱点を見つけられる（セキュリティ試験、診断）	技術者	初級（ITSS2）	オンラインLIVE	2日	2日間の講座とハンズオンのトレーニング＋1回分の認定資格試験
⑨	**認定ネットワーク脆弱性診断士**	プラットフォームの弱点を見つけられる（セキュリティ試験、診断）				2日	2日間の講座とハンズオンのトレーニング＋1回分の認定資格試験
⑩	**認定セキュアWebアプリケーション設計士**	安全な要件定義と設計の基礎がわかる（セキュリティ要件定義、設計）				1日	1日間の講座＋1回分の認定資格試験
⑪	**DecSecOps入門**	開発スピードを犠牲せずに早期からセキュリティを組み込めるようになる				2日	2日間の講座とハンズオンのトレーニング＋1回分の認定資格試験
⑯	**セキュリティパスポート**	デジタルを利活用する方がセキュリティリテラシーを学び、インシデントを自分事として捉えられるようになる	デジタル人財	入門	オンデマンド動画	4時間	1回分の認定資格試験
⑰	**実録インシデント講座**	実際のインシデント事例から攻撃者の手口を学び、攻撃者視点から必要な対応策を理解する	営業・事業企画・IT企画	初級		1事例1時間	1年毎にシーズンを選択して受講する形式
⑱	**AIセキュリティ講座**	AIを活用した業務改善やサービス提供を行う際の概念や、AIを活用した攻撃・防御について理解する。	技術者			2日間	
⑲⑳	**ゼロトラストコーディネーター**	業界の新常識「ゼロトラ」を身に付ける	営業・事業企画・IT企画	初級～中級		4.5時間	
㉑	**CISO講座**	事業継続の観点からセキュリティに対する投資の考え方を身に付ける。	CISO、CSIRT管理職	初中級		3時間	1回分の認定資格試験

※ 個社開催かオープン開催で費用が異なりますため、ご希望をお聞かせください。
※ 1回の受講にあたり、最大参加人数はオンライン・対面ともに70～80名様が上限となります。別途ご相談ください。

NTT DATA

【参考】ISC2講座・その他講座一覧

初級～上級向けのセキュリティ資格と、資格取得のため、またセキュリティレビュアの人財育成にはISC2の研修を受講することをお勧めします。また、組織全体の情報セキュリティについて俯瞰して統括管理する人財の育成を求める場合には、CISSPトレーニングをお勧めします。

【ISC2一覧】

項番	講座名	講座内容	対象者	レベル	受講形態	日数	備考
⑫	CC	事業継続観点からセキュリティの基礎を学ぶ	マネジメント	入門（ITSS1）	オンラインLIVE	1日	1日間の講座＋1回分の認定資格試験
⑬	CCSP	クラウドセキュリティを俯瞰的に組織に取り入れられる人材の育成	技術者	上級（ITSS4）		5日	1日間の講座＋1回分の認定資格試験
⑭	CISSP	組織全体の情報セキュリティについて俯瞰して統括管理する、またはセキュリティを全般的に判断しCIO・CISOへ提言できる人財の育成	マネジメント層			5日	5日間の講座＋1回分の認定資格試験

【その他講座一覧】

項番	講座名	講座内容	対象者	レベル	受講形態	日数	備考
⑮	Micro Hardening Enterprise Edition	IT運用の現場でインシデントに遭遇した際、適切に「手が動く」セキュリティエンジニアを育成	技術者	初中級	トレーニングセンタorオンライン	1日	

※ 個社開催かオープン開催で費用が異なりますため、ご希望をお聞かせください。
※ 1回の受講にあたり、最大参加人数はオンライン・対面ともに70～80名様が上限となります。別途ご相談ください。

【参考】GSX社研修 日程確認方法・個社開催最少催行人数

各研修の日程については、以下のURLからご確認をお願いします。
1社で複数名参加される場合は個社開催も実施できますので、お気軽にお問い合わせください。

	コース名		専用ポータルURL	個社開催 最少催行人数
1	EC-Council 公式トレーニング	CCT	https://www.gsx.co.jp/services/securitylearning/eccouncil/cct.html	10
2		CND	https://www.gsx.co.jp/services/securitylearning/eccouncil/cnd.html	8
3		CSA	https://www.armortechlab.com/csa	6
4		ECIH	https://www.gsx.co.jp/services/securitylearning/eccouncil/ecih.html	6
5		CEH	https://www.gsx.co.jp/services/securitylearning/eccouncil/ceh.html	6
6		CHFI	https://www.gsx.co.jp/services/securitylearning/eccouncil/chfi.html	6
8		CPENT	https://www.armortechlab.com/cpent	10
9	SecuriST	認定 Web アプリケーション脆弱性診断士	https://www.gsx.co.jp/services/securitylearning/securist/webappnwsecuritytesting.html	10
10		認定 ネットワーク脆弱性診断士		10
11		認定 セキュア Web アプリケーション設計士	https://www.gsx.co.jp/services/securitylearning/securist/securewebapplicationdesigner.html	10
12		ゼロトラストコーディネーター（入門編＋基礎編）	https://www.gsx.co.jp/services/securitylearning/securist/ztcoordinator.html	10
13		ゼロトラストコーディネーター（入門編＋基礎編＋応用編）		10
14	Micro Hardening：Enterprise Edition		https://www.gsx.co.jp/MicroHardening	8
15	CISSP		https://www.gsx.co.jp/cissp inquiry	ー

※ 個社開催の日程については柔軟に対応させていただきますので、お気軽にお問い合わせください。
※「推奨人数とは、通常のオープンコース受講料金と比較した場合に　割高にならないラインとなります。

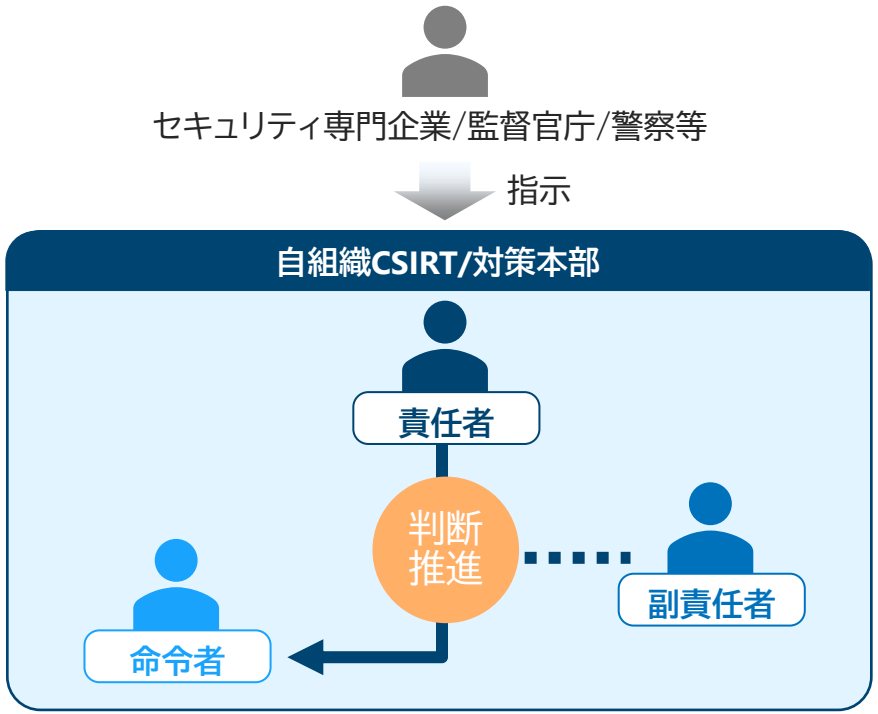
02

セキュリティ人財育成
教育体系例

セキュリティ人財育成　教育体系例　①対策実施本部向け研修

CybersecAcademy®
GSX社提供 研修プログラム

自組織でセキュリティインシデントが発生した際に、セキュリティ専門企業（当社を含む）、監督官庁や公的機関等とスムーズなやり取りを実施するためにも対策実施本部に参加される方は右記の研修を受講することをお勧めします。



役割	受講をお勧めする研修プログラム
責任者	4 インシデント対応: 2日
副責任者	4 インシデント対応: 2日
命令者	1 SOC・CSIRT: 4日 2 フォレンジック基礎（Windows）: 2日 4 インシデント対応: 2日 5 ログ分析実践: 2日

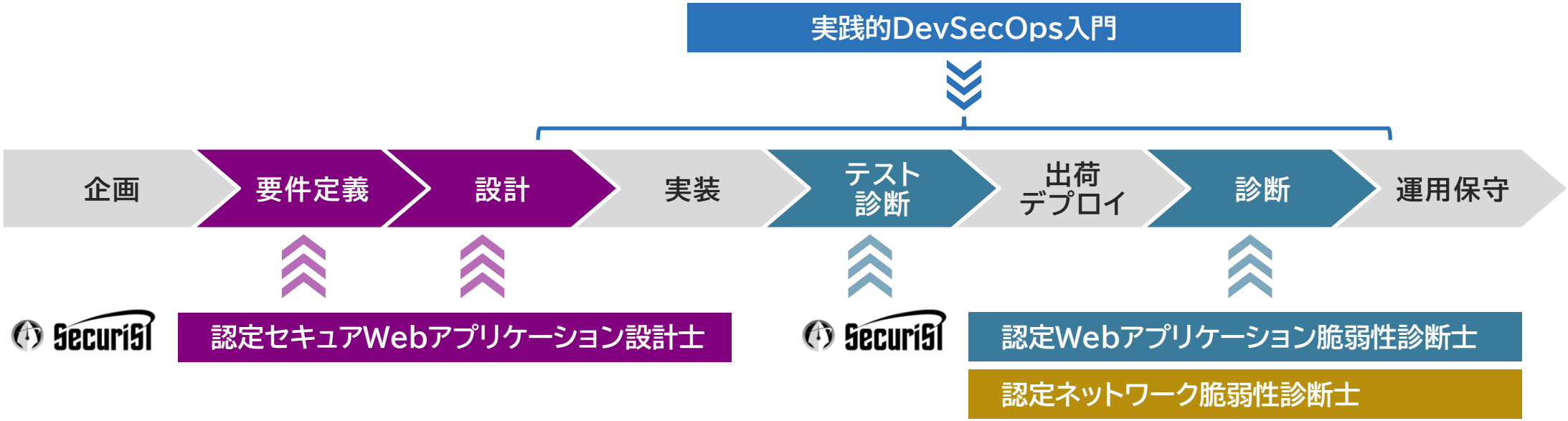
セキュリティ人財育成　教育体系例　②セキュリティレビュアの育成

安全な要件定義と設計ができる人財の育成には「認定セキュアWebアプリケーション設計士」の受講を、
アプリやプラットフォームの脆弱性診断ができる人財の育成には「認定Webアプリケーション脆弱性診断士」、
「認定ネットワーク脆弱性診断士」の受講を推奨しています。

設計開発フェーズ：SDLCの全体像

- 全体像を把握 / 共通言語化
- 診断やテストの実務
- 安全な要件定義と設計、開発

【開発工程で抑えるべきセキュリティ要件を網羅】



03

研修実施に向けた確認事項

CybersecAcademy®教育講座受講対象者について

セキュリティ人財育成の目的や受講を想定している対象者、それぞれに求めるレベルは以下の通りです。

目的		例） （防御/検知） • システム基盤やアプリケーション設計時に、セキュリティレビューを行える人財を育成したい • システム基盤やアプリケーションの脆弱性診断ができるような人財を育成したい • 社員のセキュリティ知識レベルを向上させたい （対応/復旧） • セキュリティインシデントが発生した際、実際にインシデント対応できる人財を育成したい • セキュリティインシデント発生時に判断できる人財を育成したい
受講者	部門	 セキュリティ部門　  IT部門　  事業部門
	レベル（役割）	 若手社員（指示受け業務）　  中堅社員（チームリーダー）　  管理職（責任者）
開催形態		個社開催　オープン開催（他社合同）


NTT DATA